

強者の戦略

【テキストはじめり】

受験生のみなさんお元気ですか。研伸館の松木です。ようやく関西電力エリアの節電期間も終わり、計画停電や大規模停電もなく、無事に夏を乗り切ることができました。しかし、こうしたことになったのも、石油危機以降、原子力発電に依存してきたことが影響しています。私は授業で、戦後の日本経済の転換点は、石油危機（高度経済成長の終焉）、バブル経済（雇用慣行の崩壊）、そして東日本大震災（エネルギー政策の転換）です。今後、原子力発電から自然エネルギー（太陽光、太陽熱、風力など）に移行していくことでしょう。しかし、そのためには莫大な費用がかかります。一般家庭に普及するまでには、相当時間がかかると思います。それまでは、火力発電に依存することになります。

さて、受験生のみなさんは夏休みを終えて、本格的な受験シーズンに突入しました。夏休みに行われた各種の模試の成績はどうでしたか？良かった人は、それに甘んじることなく、成績を維持するようにしましょう。悪かった人は、落ち込んでいる場合ではなく、悪かった原因を追求し、次の模試で結果が残せるようにしましょう。つまりは、模試の成績で一喜一憂することなく、何らかの課題を見つけて、本番で良い結果を出せるようにしましょう。では、予想問題にいきます。

予想問題

問 EU27か国の2012年第2四半期の実質GDP成長率はマイナス0.1%でした。また、中国の2012年第2四半期の実質GDP成長率は7.6%と、一時の9%を超える高成長に比べて低下しています。そこで、EUや中国の経済成長が低迷することによる、日本経済への影響を説明しなさい。（400字以内）